

令和5年度 和歌山県地域年金事業運営調整会議 議事録

開催日時：令和6年2月13日（火） 午後2時から午後4時まで

開催場所：和歌山ビッグ愛 802号室

出席者：

【委員長】

金川 めぐみ（和歌山大学経済学部長）

【委員長代理】

小谷 剛（一般財団法人和歌山県社会保険協会 常務理事）

【委員】

小栗 知子（和歌山県社会保険労務士会 会長）

下村 史郎（和歌山県教育庁学校教育局 県立学校教育課長）

津田 清（厚生労働省近畿厚生局 年金調整課長）

西谷 宣昭（和歌山市教育委員会学校教育部 学校教育課長）

原田 佳奈（和歌山市健康局保険医療部 国保年金課長）

春名 勝（和歌山県社会保険委員会連合会 顧問）

山田 茂弘（全国健康保険協会和歌山支部 支部長）

（吉川 隆 和歌山県年金受給者協会 事務局長 欠席）

（敬称略：五十音順）

【日本年金機構】

本部 近畿地域第一部 福嶋部長

和歌山東年金事務所 平所長

和歌山西年金事務所 松原所長

田辺年金事務所 三橋所長

和歌山東年金事務所 安田副所長

和歌山東年金事務所 浜口副所長

大手前年金事務所 山本地域調整課長

本日の議事

1. 開会の挨拶

近畿地域第一部 福嶋部長

2. 議事

(1) 令和4年度「地域年金展開事業」事業実施結果について

(2) 令和5年度「地域年金展開事業」事業実施経過について

(3) 令和 6 年度「地域年金展開事業」事業実施計画について

(4) 意見交換

3. 閉会の挨拶

和歌山東年金事務所 平所長

議事（1）令和 4 年度「地域年金展開事業」事業実施結果について

事務局（浜口副所長）

資料 2「地域年金展開事業【和歌山県】により「地域年金展開事業の概要」「令和 4 年度事業実施結果」について説明。

金川委員長

ありがとうございました。それぞれの取り組み・実績・総括いただいていますので、踏まえてご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。令和 4 年度実施結果については、WEB 開催というところもありましたが、計画的確実に実施しているように思います。大学の方は、私が授業している時は一コマ実施していましたが、現在学部長であるため授業をもっておらず、実施できずに申し訳ありません。年金月間に和歌山大学に訪問していただき、リーフレット等を配布していただいています。その時期には生徒がいないので、年度初めの 4 月、後期はじめの 10 月初旬、土日が可能であれば大学祭に生徒が多くいます。大学祭にブースを出すといいのではないかと思います。11 月はねんきん月間ですが、生徒が多くいる時期の開催を考えてはどうかという感想を持ちました。

小谷委員長代理

資料 12 頁の地域年金推進員について、中学校では年金セミナーを担当しているということで、11 ページ下段記載の中学校で年金セミナーを開催したとういことでよろしいですか。また別添資料 3-2 のアンケート結果は地域年金推進員が講師をした結果であり、資料 3-1 は機構職員が講師をしたアンケート結果でよろしいですか。

事務局（浜口副所長）

ご質問のと通りの結果です。

小栗委員

オンラインセミナーは、何分くらいの時間ですか。

事務局（浜口副所長）

40～50分です。

議事（2）令和5年度「地域年金展開事業」事業実施経過について

事務局（浜口副所長）

資料2「地域年金展開事業【和歌山県】により「令和5年度事業実施経過」について説明。

金川委員長

令和5年度は、少し「再開しました」という文言が入ってきており、コロナ下でできなかったことも、できるようになってきたのかなという感想を持ちました。実施されているセミナーはすべて対面でしょうか？

事務局（浜口副所長）

対面です。

金川委員長

コロナを経た後、対面でも良いですが、時間の都合上で来られない事もあるので、WEB開催して欲しいとか、あるいはオンデマンド開催にして欲しいとかを学生からも言われるようになりました。大学関係者がやっている研修は、対面でもよいし、ZOOMに繋いでもよい、ハイブリット開催になっているところが多くなっています。このセミナーも受講機会を増やすために、併用してもいいのかと思います。セミナーを開催する方は大変かとは思いますが、工夫されるといいと思います。

事務局（平所長）

全国年金委員研修会が機構本部主催であります、参加型とWEB会議で行っています。ご意見いただきましたので、令和6年度は実施できるよう検討していきたいと考えます。

事務局（福嶋部長）

対面、オンラインもしくは時間の都合もあるのでDVD配付、色々観ていただきやすい、参加しやすい環境はそれぞれのニーズにあわせて対応すべきと考えていますので、和歌山県に限らず、機構全体として対応してまいりたいと考えています。

山田委員

21ページの事業所への説明会について、特定検診等の開催は事業所が協力的ではない事

が多いかと思いますが、どうやって実施したのですか。また、事業所の協力具合について教えてください。セミナーの開催は、今年度はまだ少ないとの説明がありました。和歌山市内が少ないように思いますが、地域によって協力度合が違うのか教えてください。

事務局（平所長）

事業所への説明会ですが、事業所が多数していただいている訳ではなく、社会保険委員会、社会保険協会の協力を得て、それぞれの会議に説明に入らせていただいています。あとは職域型年金委員会の会議の場で説明しています。年金セミナーについては、社会保険庁時代から、年金教育を行っており、過去から開催させていただいている学校で引続き開催しているのが実情です。我々としてはこれからも開拓していく必要があります。本日は和歌山市の学校教育課長も出席されていますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。橋本市の出張年金相談については、過去から橋本市からの要望があり、毎月実施しています。

小谷委員長代理

資料 24 ページのハローワークでの離職時に取組みについて、記載では和歌山西と田辺となっていますが、和歌山東ではできないのですか。できない理由があれば教えてください。

事務局（平所長）

ハローワーク和歌山、ハローワーク岩出に対して、年度当初から協力依頼を行っています。開催できない理由としては、雇用保険説明会がコロナ感染症拡大によって説明時間を短縮し、そのため、年金の説明のために時間を延ばすことはできないとの事です。ただ、免除申請用紙は配布していただいています。今後ハローワークでの説明時間が延びるようであれば、説明の時間をいただけるよう依頼していきたいと考えています。

議事（3）令和6年度「地域年金展開事業」事業実施計画について（案）

事務局（浜口副所長）

資料2「地域年金展開事業【和歌山県】により「令和6年度事業実施計画（案）」について説明。

小栗委員

「わたしと年金」のエッセイ募集について、5、6月に予定されていますが、「わたしと税」というのを、夏休みに宿題として集めていると思います。賞が取れなくても、文房具が何かもらっていたように思います。夏休み期間中に募集をしていますが、応募数も少なく、年配の方が応募しているので、できれば若い子供達に周知したり、夏休みの宿題にしたり、子供達にアピールできる景品をつけたりはできないでしょうか。

事務局（浜口副所長）

「わたしと年金」に関する本部指示が発出されてからの動き出しになります。例年夏休み前に校長会に出席させていただきプレゼンを行います。そのため、夏休みには間に合っていないかもしれません。今後、指示発出前に動き出せるよう検討していきます。

事務局（福嶋部長）

全国的には夏休みの課題としてやっただいている所もございます。ただ、実際若い方に応募いただいている内容も遺族年金、障害年金の事が中心となっていますので、該当される方が限られています。今のご意見については、学生の方がこの企画に参加されたら、何か気持ちを返せるものが何かないか担当部署の方に調整したいと思います。参加者を広めていく事も重要だと思いますので、実現できるかどうかはわかりませんが、ご意見として頂戴したことは伝えます。

事務局（平所長）

毎年実施することなので、指示を待つのではなく、早めに学校現場にアプローチし、要領については追って連絡する等対応を考えています。

小栗委員

教育が大事であり、小さい頃から年金を払わないといけないというアピールをしていくことが重要だと思います。

事務局（平所長）

20歳から25歳の納付率について、和歌山県内の伸び率が悪い状況です。そういう意味では、子供の頃から教育を行うことが必要だと考えています。令和3年度のご意見にも、「わたしと年金」エッセイ募集拡大にむけての課題が与えられているので、引き続き、早め早めに取り組んでいきたいと考えています。

小谷委員長代理

今のお話で、年金事務所の広報として納入告知書にパンフレットを同封していますか。

事務局（平所長）

入れていません。

小谷委員長代理

社会保険協会加入の事業所に広報するのであれば、協力させていただきます。

事務局（平所長）

ありがとうございます。

春名委員

地域年金事業で、民生委員に説明したと田辺であります。和歌山東、西ではどうなっていますか？民生委員だけではなく、自治会についてはどうですか？具体的なアプローチはどのようにしていますか？また、どういうことを要望していますか？和歌山大学についての説明はありましたが、他の大学についてはどうなっていますか？学生納付特例の申請はやったほうがいいと思いますが、実態はどうなっていますか？

事務局（平所長）

民生委員について、南部町や美浜町の民生委員の方が地域型年金委員を兼務している方が多く、民生委員の集まりに年金制度説明を行っているのが現状です。和歌山東と和歌山西の地域型年金委員の大半は民生委員ではなく、年金制度説明会を実施していません。市町村を通じて民生委員の集まりに年金制度説明会を開催できるよう働きかけをしています。

大学へのアプローチにつきましては、県内大学での周知はしています。今年度、新しく宝塚医療大学で年金セミナーを開催いたしました。引き続き他大学へのアプローチを続けていきたいと考えています。

管内の学生納付特例の申請状況については、一度提出していただくと卒業見込みを記入していただき、その後はターンアラウンドにて約 8 割位提出されています。

春名委員

機構から自治会に説明して欲しいと言われますが、何を説明していいのですか？既に年金受給している人が多いです。

事務局（平所長）

自治会の役員にお願いしたいのは、自治会館へのポスター掲示、リーフレット等の配置、ねんきんネットの普及について周知していただくことを考えています。

事務局（福嶋部長）

他府県ですが、奈良県では最近詐欺電話が多いので、地域年金委員の方を通じて注意喚起を行っています。

議事（6）意見交換

金川委員長

年金セミナーで養護学校の保護者からリクエストをいただいたということで、本来想定していなかったと思いますが、障害年金の事を知りたいというニーズを持たれてリクエストがあった訳ですから、知らせる事を明確化して行って開催して欲しいと思います。先程の自治会の方に関しては、年金は世代間支えあい、賦課方式でできているので、そういったところをきちんと考えながら、きちんと年金の必要性、大切さを実感して行ってくださいと言っていきたいと思います。シルバー人材センターに入ってこられる方に年金制度をアピールできると思います。何年前かに聞かせてもらった時、若手職員を中心に授業をどのように魅力的にセミナーするかということも教育されているとのことでしたので、引続き魅力的な形で、学生参加型でのセミナーを行っていただければ良いかなと思います。

春名委員

社会保険委員会と年金委員会は、コロナで疎遠になっています。連携をとっていただいて地域年金展開事業を行っていただきたいと思います。

山田委員

協会けんぽにおいて、健康保険委員を委嘱しています。委員さんを通じてチラシを配布してもらったりしていますが、あまり何でも委員さんにお任せすると、なりてがなくなるのではないかと思います。いい制度であります、負荷のかけ方が難しいと感じています。年金は何名位いますか？

事務局（平所長）

1028名です。もともと社会保険委員であった人が健康保険委員と年金委員になっているので、年金委員の活動が不明確になっていますが、機構としては拡大にむけて取り組んでいるところです。

小栗委員

社会保険労務士であるため、学生納付特例を受けておられる方からよく相談を受けますが、支払うタイミングについて聞かれることが多いです。父親の扶養に入っている時に支払わないと、卒業してから就職して支払うと税控除額が少なくなる。そのため、そういった世代50歳位のお父さんお母さんにアピールできるものはないでしょうか。アンケート結果を読んでいた時に、デメリットとして年金がもらえるか不安というのがあります。現在受給している祖父母世代から孫世代に対して、将来年金受給できるかわからない等伝えられているのも一因だと思います。我々世代は、年金定期便で支払った保険料額と年金受給予定額を

知らせてくれています。そこで、高年齢で受給されている方にも支払った保険料額と受給総額を知らせてみるのはどうかと思いました。

津田委員

近畿厚生局では、年金委員の委嘱、解職の手続きを行っています。実際、推薦していただくのは年金機構であるため、推薦するにあたっては大変苦労されているのではないかと思います。先ほどもご意見がございましたが、大変いい制度ですので、拡大に向け取り組んでいただければ思っております。もう一つ近畿厚生局では、学生納付特例事務法人の指定事務を行っています。毎年7月末から8月にかけて大学等に文書勸奨をしています。これは、比較的生徒がおらず、事務が比較的楽な時を狙って勸奨しています。

年金制度の周知は大変重要な事項ですので、年金セミナーや年金相談窓口の設置は継続的に取り組んでいただきたいと思います。機構職員には限りがありますので、オンラインでの実施を行うなどしてもらえればと思います。私どもも市町村に説明会をする際、昨年より対面実施からYouTube動画に切り替えました。アンケートを取ってもそれで充分との意見がたくさんありましたので、一律YouTube動画に切り替える方向で考えています。機構も少ない数の中でも積極的にオンライン、ハイブリットを活用していただきたいと思います。

西谷委員

セミナーであったり、エッセイ募集であったりの部分について、今色々なセミナーできていただき勉強になっています。金融や税の事については、子供達も消費税が導入され身近に感じると思いますが、年金となるとかなり遠い世界のように感じると思います。とは言っても、子供のころから年金制度について勉強する必要があると思いますので、セミナーで勉強するのがいいと思います。保護者の方にもお話いただければ良いと思います。エッセイについても、年金は難しいとは思いますが、夏休み前が一番時期としてはいいので、時期についても検討していただければと思います。令和4年度のセミナー結果について、和歌山市立の中学校も参加しています。アンケート結果を見ると、理解できたという回答が非常に多いと思いました。ということは、子供達に対してわかりやすい内容のものを提示していただいていると思いますので、他の学校にもすすめていただければと思います。

下村委員

高校の状況をお知らせしたいと思います。年金の学習をするのは、公民科と家庭科の中で行うよう学習指導要領で定められています。公民科では、社会保障の充実のような観点で歴史であるとか、仕組みについて学ぶようになっています。家庭科の方は、ライフステージ的な観点から年金生活への備えという形で学んでいます。そういうふうにすみ分けされて、学習指導要領に定められています。学習はしていますが、最近、〇〇教育が非常に増えており、

取り上げなければいけないのが、消費者教育、主権者教育、租税教育です。以前は学習指導要領に深く定められていなかったのが、触れなくてもよかったのですが、最近は触れなくてはいけない内容が非常に増えています。年金教育で1時間位かかりますが、現場では1時間を取ることはできません。そのため、サラッと触れる程度で、消費者教育、主権者教育、租税教育も実施されています。しかし、大切な事であるので、セミナーの案内であるとか、エッセイ募集の案内について周知依頼がございますので、各学校に周知しています。年金セミナー開催校をみると、高校卒業後社会にでる生徒が多い学校が行っているように思います。これ以外にも選挙セミナーや金融セミナー、税金セミナーもあって、年金セミナー開催日からすると、テスト終了後、休み前までの期間に開催しているようです。競争は激しいと思います。教員が授業の中で触れていくだけでは十分ではないと思います。専門家の方に来ていただくことは良い事なので、周知は引続ききちんとやっていきたいと考えています。

何か高校生用にパンフレットとかあれば毎年配布し、授業で活用できると思います。セミナーの時間は取れなくても、高校生が年金を知る機会が増えるので、セミナー以外でも機会を作れるのではないかと思います。

原田委員

国保年金課は現状国民健康保険がメインで、年金は縮小状態です。免除の受付や障害年金の受付は各担当が行っています。私が担当していた27、8年前頃は、収納業務があり、支所等で年金相談を行ったり、成人式の時パンフレットを配布したりしていました。しかし、収納業務がなくなった今、全体として縮小傾向にあって、班長と正職員1、2名とあとは会計年度の職員でやっている状態です。正直、今日のお話をきいて、色々なことをされていることを知り、勉強になりました。先程のお話にあった納付特例制度について、本来学生は納付できず、免除がメインとなり、働きはじめて納付するかしないか考えると思います。なかなか控除の事まで考えて、納付するのは難しいかなと思います。親が支払うのであればいいですが、学生がアルバイトをし、支払い能力があったとしても、納付に回すことはないと思います。和歌山市では縮小傾向にはありますが、窓口はあるので、可能な限りお手伝いしていきます。

小谷委員長代理

社会保険協会では、年に15回セミナーや教育を行っています。内容的には、健康保険、労働保険それと年金制度といった内容です。出席していただいた会員事業所の事務担当者を対象に行っています。従業員の方が、事務担当者に何か質問した時に、事務担当者ができるだけ答えてもらいたいということを目的に、それぞれのセミナーを開催しています。講師にあたりましては、年金機構の方、協会けんぽの方、県内の社会保険労務士の先生のご協力をいただいています。引続きよろしくお願い致します。微力ですが、制度の普及、啓発について、来年度も頑張りたいと思います。

金川委員長

各委員より色々な形での建設的なアイデア、ご意見をいただきましたので、ぜひできるところから取り入れていただければと思います。

3. 閉会の挨拶

和歌山東年金事務所 平所長